

一般社団法人日本循環器看護学会
令和3年度 第2回WEB理事会 議事録

- 1 日 時 2022年2月14日(月) 18時00分から 20時00分まで
2 場 所 日本循環器看護学会事務局(東京都文京区大塚 5-3-13 小石川アーバン 4F)
3 出席者 眞嶋 朋子、宮脇 郁子、池亀 俊美、宇都宮 明美、岡田 彩子、大江 理英、齊藤 奈緒、
田村 綾子、前田 靖子、三浦 稚郁子、明神 哲也、山田 佐登美、若林 留美、
鷺田 幸一(以上理事)
坂本 明子(以上指名理事)
瀬戸 奈津子、吉田 俊子(以上監事) 以上 17名中 18名出席(定足数 8名)
欠席者 林 亜希子
(理事及び監事は、全員 ZOOM によるWEB出席)／事務局 横川は事務局にて出席

4 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果

以上のとおり定款第 28 条の定める定足数を満たす理事の出席があり、本理事会はWEB会議システムを用いて開催されるため、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いのできる状態となっていることが確認されたことで本理事会が成立したため、定刻、眞嶋理事長が開会を宣した。

第 1 号議案 令和3年度第1回理事会議事録の確認について

眞嶋理事長より、第5回理事会議事録(案)が示され、議場にその承認が求められたところ、異議なく承認された。

第 2 号議案 新規入会・退会者の承認について

総務委員会齊藤委員長より、新規申請入会申請者6名、退会希望者1名について報告がなされ、異議なく承認された。

第 3 号議案 「令和 4 年度(2022) 研究助成制度」 選考委員長及び、選考委員の承認について

総務委員会齊藤委員長、若林副委員長より、「令和 4 年度(2022) 研究助成制度」の選考委員長及び、選考委員について報告がなされた。選考委員長については学会における監事の役割を鑑み規程の見直しを行い、再度検討することとなった。選考委員については下記の通り異議なく承認された。

| | | |
|-------|--------------------------|----------|
| 池亀 俊美 | 倫理委員会 委員長(理事) | 榊原記念病院 |
| 田村 綾子 | 国内交流委員会 委員長、学会誌編集委員会(理事) | 四国大学 |
| 大江 理英 | 学術委員会、選挙管理委員会(理事) | 兵庫県立大学 |
| 小泉 雅子 | 総務委員会 | 東京女子医科大学 |

第 4 号議案 第 40 回教育セミナーについて

学術委員会三浦委員長より、第 40 回教育セミナーの企画案について報告がなされ、以下内容で、異議なく承認された。

【第 40 回教育セミナー】

テーマ:「併存症をもつ循環器疾患患者の看護を実践しよう！」

時 期:2022 年 6 月 25 日(土)13:00~16:50

方 法:ZOOM ウェビナーによるオンラインセミナー

参加費:会員:2000円 非会員:4000円

定員:500名まで

申込期限:6月15日(水)12:00まで(定員になり次第、締め切り)

プログラム

- ・オリエンテーション 13:00~13:05
- ・講義1 循環器の併存疾患総論 13:05~13:45
- ・講義2 脳血管障害 13:50~14:30
- ・講義3 慢性腎臓病(CKD)14:35~15:15
- ・講義4 糖尿病 フットケア 15:20~16:00
- ・講義5 慢性疾患看護(CNSによる) 16:05~16:45
- ・閉会の挨拶・アンケート案内 16:45~16:50

第5号議案 第86回日本循環器学会学術集会「チーム医療セッション ジョイントシンポジウム」について

国内交流委員会田村委員長より、日本循環器学会より例年依頼のある第86回日本循環器学会学術集会「チーム医療セッションジョイントシンポジウム」について、プログラム集・抄録集・会場看板等へ掲載について、また、シンポジウムでの三浦稚郁子理事への座長依頼について報告がなされ、異議なく承認された。

第6号議案 広報委員会 委員長交代について

眞嶋理事長より、広報委員会委員長の交代について報告がなされた。現在検討中のウェブサイト改修に伴う代理店との折衝、及び、役員・事務局との通常連絡などにおける滞り、委員長が辞任の意を表し、理事長が承認した。理事長が新委員長として鷺田理事を指名したことについて異議なく承認された。

第7号議案 日本循環器看護学会 WEB サイトの改修について

広報委員会鷺田委員長より、ウェブサイトの改修についての報告がなされた。学会事務局を通して3社の提案・見積を検討の結果、そのうち2社に対してWEBによるヒアリングを実施し、再度検討を進めることが承認された。

第8号議案 会員ニーズ調査について

眞嶋理事長より、Google アンケートフォームを使用した会員ニーズ踏査について提案がなされた。会員ニーズ調査は法人化から約5年を経て、会員へどのようなサービスやメリットを提供することができるかを測り、今後の事業計画などへ反映させるために実施するものであり、翌年度の事業計画(6月の理事会議題)へ盛り込むため、学術委員会とも検討を重ね、3月頃には実施する見込みで取り組むことが承認された。この他提案された意見は下記の通りである。

- ・執筆や研究など、会員が自分の臨床をまとめる際に役立つような、会員個々のレベルを上げるためのセミナーを開催するなどにつなげられるような質問を設けてはどうか
- ・入会の動機を掘り下げる内容にしてはどうか
- ・学習のニーズに対する質問だけでなく、実践的なニーズを取り入れたものにしてはどうか
- ・チーム医療や在宅医療などとの関わりや、診療報酬に活かせるような質問などを取り入れてはどうか
- ・会員が学会に求める知識や情報を得るための質問を検討してはどうか。(教育セミナーに求めることを質問にしても、限られた年間の開催回数の中では反映が難しいことも考えられるため

第9号議案 第18回学術集会収支報告

第18回学術集会前田大会長より、大会報告及び収支報告がなされた。収支決算書は未確定のものも含まれるため、最終の収支報告は総務委員会へ提出し、精査されることとなった。

【第18回学術集会】

1. 報告内容

①テーマ:「循環器看護の“シンカ”を問う - 進化 深化 真価 -

会期:2021年10月9日土曜日-10日日曜日

*2021年10月9日土曜日-31日日曜日(オンデマンド配信)

開催方法:完全WEB(名古屋ハートセンターより配信)

ライブは3チャンネルで配信

②参加数等

・参加総数 1010名(会員:464名 非会員:546名内学生2名)

・オンデマンド配信期間中の視聴ログ数

基調講演/シンポジウム/特別講演(4枠) total: 289

教育講演(3テーマ) total: 312

一般演題(ポスター18演題) total:1,174

優秀演題審査会 total: 101

一般演題(口演9枠44演題) total: 703

教育セミナー(8テーマ) total:2,398

③学術集會会計監査について

前年を踏襲した費用で納めるように調整を行う。

第10号議案 JANA 医療事故調査委員の推薦について

眞嶋理事長より、JANAより依頼のあった医療事故調査委員会の委員推薦について報告がなされた。調査委員会には多くの学会より委員が推薦され、調査委員の活動に従事している。また、循環器に関わる事故の症例もあるため本学会からの委員推薦を進めることとなった。

(報告事項)

1. 第19回学術集会準備状況報告

第19回学術集会瀬戸大会長より、2021年10月9日(土)~10日(日)に開催される第18回学術集会について、下記の通り進捗状況が報告された。

【第19回学術集会】

(1)開催形式とプログラム配置について

費用削減の観点から、ライブ配信なしで2日間のオンサイト&3ヶ月間のオンデマンド配信。オンデマンド配信は、動画の教育セミナー及び2つの会場(大ホール・小ホール)に限定。その中にオンデマンド配信対応の特別講演、教育講演、シンポジウム(共催含む)、市民公開講座(コンサート含む)を配置。

(2)プログラムについて

【会長講演】

テーマ「循環器看護と臨機応変」

瀬戸奈津子(関西医科大学看護学部・看護学研究科)

【特別講演】

テーマ:「看護職に元気をもたらすメッセージ～Endless challenge～」

福井トシ子(公益社団法人 日本看護協会)

テーマ:「多職種連携の一環として心臓リハビリテーション」

木村穰(関西医科大学健康科学科)

テーマ:「重症心不全患者への未来医療」

澤芳樹(医療法人警和会 大阪警察病院)

テーマ:「循環器看護における臨床倫理」

会田薫子(東京大学 大学院人文社会系研究科 死生学・応用倫理センター上廣講座)

この他、6つの教育講演、2つの共催シンポジウム、6つのシンポジウムを予定。また、教育セミナー「よくわかる」シリーズ、一般演題(口演・示説)、交流集会、最優秀演題審査会、市民公開講座(ジャパンハートクラブ大阪支部)、モーニングコンサート(関西医関西医科大学科科大学混声合唱団コールクライス)、ランチョンセミナーなどを予定。

(3) 公社)循環器病研究振興財団共催循環器疾患看護研究助成成果発表会について

本年度は1名のためのため、先方と相談の上、一般演題の中で開催。

(4) 優秀演題審査委員優秀演題審査委員会委員について会委員について

稲垣 美紀先生(代議員・企画委員会委員) 審査委員長

田村 綾子先生(理事・研究者理事)

宮松 直美先生(編集委員・研究者)

竹原 歩先生(代議員・実践者)

関口 亮子先生(会員・実践者)

(5) 共催・協賛状況について

例年共催・協賛いただいている企業のみならず、糖尿病やフットケアに関する企業、関西医科大学と取引のある企業等など、多くの企業に大学と取引のある企業等など、約600の企業に趣意書を発送し、ランチョンセミナーやコーヒーブレイクセミナー、企業展示、プログラム集、パンナー・スクリーン広告、寄付等の検討を依頼中。

(6) 収支案

準備に関わる過程や当日の運営等を、委託業務に関わる部分は再度精査する予定である。

(7) 今後の予定今後の予定

ポスターとチラシ第1版は、近畿圏にある大学と看護協会に送付。2月中に特別・教育講演のテーマと講師、シンポジウムのテーマなどプログラム入りのポスター&チラシ第2版を作成するなど、引き続き広報に努める。また、現在3/15(火)～演題募集開始に向けて準備中である。

【検討事項】

① 委員会企画セッションの募集

学術委員会と学会誌編集委員会による交流セッションの開催について→委員会で検討

② 3月学会誌へのチラシ同封依頼3月学会誌へのチラシ同封依頼→封入する方向で準備を行う

③ 学術集会会期中の社員総会・会員総会・委員会の開催の有無について→総会は会期外の日程でWEB開催。委員会の開催は無し。

④ 日本人工臓器学会からジョイントセッションの依頼が予想されるため、国内交流田村委員長、第18回前田大会長より、先方へ意向の確認を行った上で、ランチョンセミナーで対応できるか検討する。

2. 第 20 回学術集会準備状況報告

第 20 回学術集会山田大会長より、2023 年に開催される第 20 回学術集会について、下記の通り進捗状況が報告された。

【第 20 回学術集会】

(1)会期:2023 年 9 月 16 日(土)、17 日(日)

(2)テーマ:CONNECT~循環器看護の力

(3)方法:オンライン開催(ライブ及びオンデマンド配信)

(4)学術集会企画委員会

大会長 山田 緑 共立女子大学

企画委員 齊藤 奈緒(理事) 宮城大学

池亀 俊美(理事) 榊原記念病院

若林 留美(理事) 東京女子医科大学病院

落合 亮太(代議員) 横浜市立大学

小泉 雅子(代議員) 東京女子医科大学

伊東 紀揮(社員) ゆみのハートクリニック

藤村 朗子(社員)(事務局長) 東京医療保健大学

佐藤 麻美(社員)(事務局) 心臓血管研究所付属病院

岡島 志野(事務局) 東京都立大学大学院博士後期課程

(5)運営事務局: 選定中

3. 厚生労働省「医療技術評価結果」について

政策・診療報酬山田委員長より、医療技術評価結果について、全 733 件の評価対象があり、診療報酬の改訂で点数がつけられたのはそのうち 175 件という結果になったこと、本会からの 2 件については、2 次審査で厚労省のヒアリングが実施されたが診療報酬改定の評価の対象とならなかったことが報告がなされた。

なお、厚生労働省によると、本年はコロナ関連、不妊治療関連、情報機器を用いた遠隔医療に関わるものが中心となり、指導管理に関するものについては評価を得るのが難しい傾向にあるとのことである。

また、今後の対策のひとつとして、診療報酬が多くつけられている他学会などを参考にし、本会でも、学会誌へより多くの実践報告を掲載するなどの工夫が必要なのではないかとの提案がなされ、学会誌編集委員会への検討が求められた。

WEB会議システムを用いた理事会は終始異状なく、議長は以上をもって、本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した理事長及び監事がこれに記名押印する。

令和 4 年 2 月 14 日 一般社団法人 日本循環器看護学会 理事会

理事長 眞嶋 朋子 印

監事 瀬戸 奈津子 印